

ヤチダモ (タモノキ)

モクセイ科 トネリコ属 (落葉高木)

学名 : *Fraxinus mandshurica* 英名 : (Ash)



- ・葉：狭長だ円形の小葉が、7~11枚の奇数羽状複葉、小葉は幅が広くて先が急に細くなる
ふちは細かい鋸歯、葉のつけねの裏側に茶色の毛、小葉は無柄
- ・幹：皮は灰白色~灰褐色、浅く縦に裂ける、枝が太い
- ・冬芽：枝の先に三角形または円錐形でやや尖った頂芽を1個、側芽は対生、2枚の芽鱗
頂芽は側芽より大きい
- ・材の強度が高く、曲げても折れない「撓む木」→タムキ→タモキ→タモ
湿地に生えるタモ → ヤチダモ
- ・アイヌ伝説：「ヤチダモは、森の中でもっとも背の高い木で、森の守り神のフクロウは
この木の上で人間界に悪魔が近づくのを見張った」